

新光総合病院建設に係る実施設計
技術協力事業者（工事施工予定者）
選定プロポーザル審査結果報告書

平成28年7月5日

新光総合病院建設に係る実施設計技術協力事業者
（工事施工予定者）選定プロポーザル審査委員会

新光総合病院建設に係る実施設計技術協力事業者（工事施工予定者）選定 プロポーザルの審査結果及び経過について

1 委員の構成

新光総合病院建設に係る実施設計技術協力事業者（工事施工予定者）選定
プロポーザル審査委員会

| | | |
|-----|-------|--------------------|
| 会 長 | 中園 真人 | 山口大学大学院創成科学研究科教授 |
| 副会長 | 内田 文雄 | 山口大学大学院創成科学研究科教授 |
| 委 員 | 桑田 憲幸 | 光市立光総合病院長 |
| 委 員 | 森重 正一 | 光市副市長 |
| 委 員 | 沖本 俊幸 | 光市建設部建築住宅課建築技術担当課長 |

2 参加者（参加表明書提出順）

○戸田建設株式会社 広島支店
○株式会社奥村組 光営業所
○清水建設株式会社 広島支店
○大成建設株式会社 中国支店

3 審査までの経過

（1）公告

平成28年4月1日（金）に、新光総合病院建設事業実施設計技術協力事業者の選定について、公募型プロポーザルに係る手続きを公告した。

（2）参加表明に関する質疑

平成28年4月7日（木）までに、1者から1問の質疑を受け付け、平成28年4月8日（金）に、回答を光市病院局ホームページ上に掲載した。

（3）参加表明書等の受付

平成28年4月20日（水）までに、4者から参加表明書の提出があり、受け付けた。

（4）参加資格確認結果の通知

平成28年4月22日（金）に、参加表明書を受け付けした4者に対して、参加資格の有無を確認し、全ての者に参加資格確認結果を文書にて通知し、技術提案書の作成及び提出依頼を行った。

（5）技術等提案に関する質疑

平成28年5月12日（木）までに、全ての参加資格を有する者から合計198問の質疑を受け付け、平成28年5月20日（金）に、回答を通知した。

(6) 技術提案書等の受付

平成28年6月13日(月)に、全ての参加資格を有する者から技術提案書等の提出があり、受け付けた。

4 審査の経過

平成28年6月25日(土)に、新光総合病院建設に係る実施設計技術協力事業者(工事施工予定者)選定プロポーザル審査委員会委員5名全員出席のもとに全ての参加資格を有する者に対して、プレゼンテーション及びヒアリングによる審査を行った。

はじめに、事務局より審査事項などの確認を行った後、中園会長が、議事進行の議長を務めた。

参加資格を有する4者には、公正及び公平な審査を行う観点からA社からD社の仮称を使用し、審査を行う順番は、参加表明書の受付順とした。1者あたりのプレゼンテーションは、様式9から様式21の技術提案書の内容について30分間、その後ヒアリングを20分程度行った。委員各自がプロポーザル審査基準に基づき評価を行い、全てのプレゼンテーション及びヒアリングが終了した後に、各委員の評価を集計した結果、委員会の総意として、合計評価点が最も高い者を「最優秀者」(第1工事施工予定者)として選定し、次に合計評価点が高い者を「次点者」(第2工事施工予定者)とした。

5 審査結果

(1) 最優秀者(第1工事施工予定者)

戸田建設株式会社 広島支店

合計評価点 352.9点

(2) 次点者(第2工事施工予定者)

清水建設株式会社 広島支店

合計評価点 342.4点

6 審査講評

本事業では、「地域の皆様に信頼される病院づくり」を基本とする新光総合病院の理念や基本方針に基づき、建設の担い手及び建設資材の不足による建設費の上昇などの厳しい社会情勢の中、円滑に事業を推進するため、工事施工事業者の優れた施工技術や豊富な経験に基づいた病院建築の実績を実施設計に取り入れていくE C I方式を採用し、光市病院局及び実施設計事業者と協働する実施設計技術協力事業者（工事施工予定者）の選定を公募型プロポーザルにより実施することとした。

このため、本プロポーザルの提案にあたっては、急性期医療を提供する病院であることや自治体病院として成長と変化が著しい施設であることを踏まえて、企業及び担当する監理技術者の実績や工事施工に関わる技術提案、市内業者の活用や品質を確保しコスト縮減する提案など、多岐にわたる提案を求めたこととした。

各参加者の提案は、病院建築の経験と知識、技術の高さが活かされ、独自のノウハウに基づいた特色があり、本事業にふさわしい意欲的な内容であった。また、基本計画や基本設計書に基づき、概算事業費を意識しながら、熱意と努力あふれる技術提案がなされていた。

最優秀者は、病院建設という特殊性を踏まえ、E C I方式のメリットを活かすよう本社・支店における各部署の協力、役割分担が示され、会社を挙げでの支援体制が明確にされていた。また、工事管理に係る技術的所見においては、作業員・資材の確保、製作物管理等による工事の遅延防止策、総合図を早期に作成し病院側との合意形成を図る方策が提案されていた。

工事期間中の周辺環境への配慮においては、工事車両の路上待機の禁止、付近の学校の児童生徒への配慮等の交通事故防止、仮囲いに防音壁を追加配置するという騒音抑制について、具体的に提案がなされていた。

また、施工中の工事品質の確保においては、コンクリートの品質管理についての詳細な管理フローが示されたこと、また設備工事の隠蔽部の確認方法が示されていた。

V E提案においては、様々な角度から優れた技術を活用した有効な提案が多く見受けられた。

次点者は、工事工程表において、開院に向けての準備期間に余裕のある工程を示し、ライフサイクルコストの低減においては、イニシャルコスト増減

額、ライフサイクルコスト低減額及び設備等の更新回数が多項目にわたり提案されていた。

また、竣工後の建物品質の確保において、中長期保全計画の提案や長期にわたる定期点検・定期訪問が提案されており、市内業者の活用においては、建設業、資材購入、その他業種について、多項目にわたり詳細な効果金額が示されていた。

今後、本事業を進めるにあたり、E C I方式のメリットが効果的に発揮され、光市病院局、実施設計事業者、選定された実施設計技術協力事業者（工事施工予定者）との間の信頼関係と協働体制を確実に構築し、本事業が素晴らしいものとなるよう、更なる尽力を強く期待する。

なお、本プロポーザルの厳しい日程にも係わらず、貴重な時間を費やし真摯に取り組まれた参加者の皆様に深く敬意を表すとともに、心より感謝申し上げます。

平成28年7月5日

新光総合病院建設に係る実施設計技術協力事業者
（工事施工予定者）選定プロポーザル審査委員会
会 長 中 園 眞 人